

協働で子どもを育てる

～上関町地域協育ネット運営委員会の取組～

【上関町 上関中学校区】

地域の概要

上関町は、山口県の東部に位置し、周防灘に向かって突き出た室津半島突端の室津と対岸 200mの上関海峡を隔てた長島と離島の祝島、八島からなります。現在、上関町は上関中学校の一校区のみです。（祝島中学校：休校中）

島特有の地形で、平地が少なく、昔は見事な段々畑が開かれていましたが、近年は過疎化や高齢化のため放置されたものが多く、雑草地となりつつあります。

古くは、海外貿易、内海航路の要衝で毛利藩の三関（下関、中関、上関）としても知られ、政治、経済、文化の中心として栄え、今も多くの遺産を残しています。特に、外交使節、朝鮮通信使の来日は有名です。

昭和 44 年に上関大橋の開通により、人々の生活圏が拡大するとともに生活様式にも変化が生じ、近隣市町への通勤が年々増えていっています。町内全域に過疎化の現象が現れ、児童・生徒数は減少しています。

上関町では、平成 20 年度から義務教育の 9 年間で上関の子どもを見守り育てていこうという小中一貫教育に取り組んでおり、異校種・異学年の交流や学校行事を合同で行うなど、学校・地域・家庭が協力して、長い目で子どもの成長を見守る教育をめざしています。

地域住民、保護者の学校に寄せる期待は大きく、教育活動への支援については積極的であり、協力的です。

人口	3,513 人	
世帯数	1,857 世帯	
対象校及び児童・生徒数	上関中学校	42 人
	上関小学校	83 人
	祝島小学校	4 人

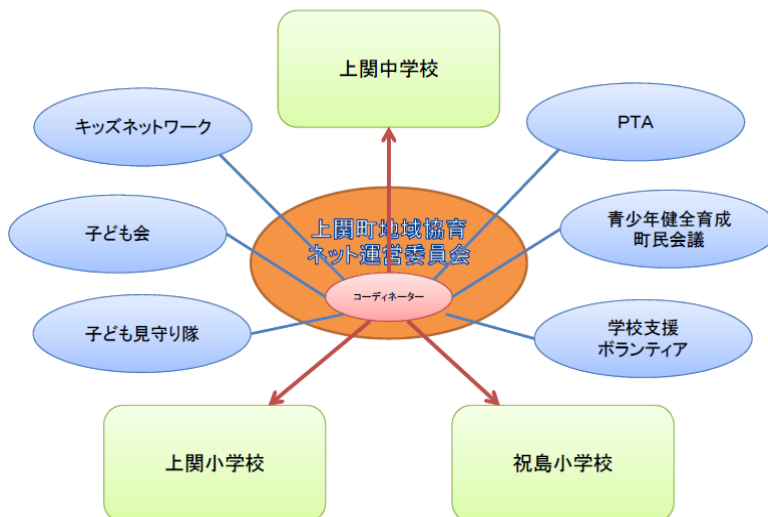


組織の内容

上関町地域協育ネット運営委員会は、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校・家庭・地域が相互に連携し、学校や家庭での教育活動への支援及び放課後等における子どもの安全で安心できる居場所づくり（放課後子どもプラン）を推進することを目的として設置しました。学校関係者をはじめPTA関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、放課後子ども教室関係者、地域団体の代表者等から構成されています。

平成 23 年度は各関係者が集う場で取組の趣旨を説明し、校区の課題解決に向けて組織的な支援活動に対する理解が深まるように努めてきました。

上関町地域協育ネット運営委員会の構成	学校教育関係者	3 人
	地域団体関係者	1 人
	P T A 関係者	1 人
	行政関係者	3 人
	放課後子ども教室関係者	2 人
コーディネーター数		1 人



主な活動の紹介

○ボランティア団体の活動

・子ども見守り隊

隊員のみなさんには、登校時と下校時の見守りをしているのですが、学年によって下校時刻が異なっているため、上関小・中学校の行事予定表（下校時刻）や学校だよりを毎月配付してお知らせとお願いをしています。また、学校の様子を知っていただくため、学校だよりを配付し、行事等の機会には学校に足を運んでいただけるよう呼びかけをしています。



年度初めには上関小学校児童との対面式を行い、安全マップづくりを4年生児童と行った後、校内視察（授業参観）を行っています。

・キッズネットワーク

おやじの会に、子どもが小・中学校を卒業した保護者、母親たちも加わって作られたボランティアグループです。子ども会の行事において昼食を準備したり、地引き網を行ったり、また、上関小・祝島小が夏休みに行くサマースクールでは漁船で子どもたちを海水浴の目的地まで運び見守るなど、子どもたちの体験活動のサポートに大きく貢献しています。



○学校支援の様子

・ミニ科学の祭典

小学校のサマースクールのプログラムの1つとして行っています。学校関係者、ボランティア、教育委員会が協力してブースを10程度出展し、子どもたちが理科や科学の楽しさにふれ、そのすばらしさに目を向ける機会となっています。また、町内の保育園や上関中学校にも参加を募り、保小中がふれあう機会にもなっています。



○放課後子ども教室の様子

放課後に子どもの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、平成19年4月から開設しており、原則として上関小学校授業日の中で給食のある日、年間約190日の活動を行っています。自主学习、自由遊びが主な活動ですが、地域のお祭りで担ぐ御神輿の飾り付けをしたり、スポーツ団体から指導者を招いて教えていただいたり、様々な体験活動も行っています。

今後の取組

現在、小中一貫教育を進めている上関町では、「かかわり合いを通して自己表現できる児童・生徒の育成」をめざして、上で紹介した主な活動の紹介の他にも学校・家庭・地域が連携した取組が行われています。今後は、地域協育ネットのもと、支援団体やボランティアのみなさんと子どもの育ちに関する思いや課題を共有し、支援活動のさらなる充実・深化につなげていきます。

また、地域から支援していただくだけでなく、学校からも地域に出向き、地域の絆をより強いものにしていきます。